



令和がスタートしたばかりのゴールデンウィーク、日本橋三井ホールは新元号を祝う和のお祭りが華々しく開催された。

東京キモノショー TOKYO KIMONO SHOW 2019

東京キモノショー2019実行委員会（共催：一般社団法人きもの未来協議会、中野光太郎代表理事）は「東京キモノショー2019」を5月2日から6日までの5日間、東京日本橋のCREDO室町1三井ホールで開催した。きもの持つ魅力や楽しさをより身近なものとしてとらえてもらえる絶好の機会としてアピールし、きもの業界の活性化を図ることを目的に開催。また、和文化やアート、空間演出を組み合わせたことで、きもの愛好者はもちろん和文化に興味を持っている人、きものを始めたいと思っている人にも、きもの魅力や楽しさを、現代のニーズに合わせた新しさを感じてもらえる機会にしたいと考えている。秋のきものサロネー in 日本橋、ゴールデンウィークの東京キモノショーときものファンにはたまらない体験型イベントとして定着している。

4回目となる今年のテーマは「竹取物語」。エンタランスにはメインビジュアルのポーズ人形のイメージボスターが飾られ、SNS発信にうってつけの撮影スポットになっていた。竹で飾られた通路をくぐり会場に入ると、アートディレクター、西岡ベンシル氏と人形作家、宇山あゆみ氏のコラボレーションした作品、土一単を着たポーズ人形「KAGUYA」ちゃんがお出迎え。竹取物語のテーマらしく、そよ風に揺れる竹に囲まれた茶室に到着。今年のひかりの茶会は竹取物語のテーマらしく、竹に囲まれた別世界になっており、日常の喧騒を忘れ、ゆつくりとした時間を過ごすことができる空間になっていた。

メイン会場に入ると、東京キモノショーのテーマカラー、ディープブルーが会場正面の壁面を飾る。左側にクールブルーの世界を「染め」で描いた成瀬優氏のクールディープブルーの作品。右側には四季折々で表情が変わる丹後の海の色をばかし染めで表現した小林染工房の丹後ブルーが、それぞれのもつ独特の「青」を表現していた。





ブルーの共演に挟まれるようにトルソーにきものを着せ、さらにボードにもコーディネートした100点のきものスタイルがずらりと並び「キモノスタイル2019」が存在感を示していた。今回は9つのテーマ別に展示され、そのテーマは①京都の伝統工芸、京はんなり、②まるごと購入できるPOPカジアル、③夏を感じる夏きものゆかた、④打掛・白無垢などの花嫁・ブライダル、⑤礼装・七五三などのセレモニー、⑥カラーコーディネート重視の色彩コーナー、⑦男の普段着、男物カジアル、⑧変化に富んだバラエティ、⑨温もり溢れる紬。テーマごとに分かれ、所狭しと並び100体のきものスタイルは憧れや、参考にしたい等、様々なスタイルが間近でみることができ、圧倒されるとともに、誰もがきもの持つ魅力に魅了される空間となっていた。テーマ毎に人気投票が行われ、総合順位とテーマ別の上位入賞者がきものアワード2019として発表された。総合ベスト10は下表の通り。

2019 キモノアワード

1位 148票
Maison Mamesaku
(きものまめ咲)



4位 115票
花想容



2位 136票
花想容の絞り染め教室
(阿部雅美さん作品)



5位 109票
石田節子のきものお仕事



3位 117票
たかはしきもの工房



6位 100票
青山ゑり華



7位 99票
開運きもの塾千の花湯浅千花恵
(KICC)



8位 95票
KIMONO MODERN



9位 91票
一矢のきものワンズベスト



9位 91票
花想容





東京キモノショー TOKYO KIMONO SHOW 2019

ステージイベント

STAGEはファッションショーと和ごと
ショーが1日10ステージ組み込まれ、来場者は毎
日変わるステージに釘付けになった。ステージを
見るだけで1日を過ごせる舞台構成は東京キモ
ノショー最大の特長といえよう。ファッション
ショーはきものプロジェクト、イマジンワンワ
ールドのステージ、藤井絞ファッションショー、還
暦を迎えた女性が自身の振袖を着てランウェイを
歩く大人の振袖ファッションショーや商社マン男
子を着るきものショーなど14メゾンが日替わりで
登場する。また、和ごとショーは日本舞踊、和楽
器演奏や、創作ダンス、子供の日には、キッズ落
語などいつ行っても、楽しめるように、毎日ステ
ージ構成を変えてショーが途切れることなく行わ
れ、どれも見逃せない「和ごと&ショー」が続き
和文を体験する絶好の機会だった。

和ごと& ファッションショー

TOKYO
KIMONO
SHOW
2019





イマジン・ワンワールド・KIMONO プロジェクト

ザンビア共和国 KIMONO

着物作者：藤井裕也

アフリカ大陸南部に位置する8つの国に囲まれた高原の国ザンビア共和国。1964年10月24日にイギリスから独立建国したザンビア共和国は同年10月10日に開催された東京オリンピックにはイギリス連邦北ローデシアとして参加。閉会式にあたる10月24日にザンビア共和国として独立したため開会式と閉会式が異なる国名になった。ザンビア共和国 KIMONO はイマジン・ワンワールド・キモノプロジェクトの依頼で染色作家藤井裕也氏の手で約1年間の製作期間を経て完成した。そのきものにまつわる話を作者藤井裕也氏に聞いた。

「2017年12月中旬、高倉慶応代表理事からオファーが届き、約2ヶ月間、作品モチーフを取材。ザンビア共和国大使に提案するためのアイデアを纏め上げ、下絵や色柄の選定を進めました。同時に、青年海外協力隊員としてザンビア共和国でPCインストラクターとして着任、活動しておられる蔵本有紀さんの発信するリアルタイムの現地情報に着目し、空気感や生活から創作のヒントを得ました。

2018年2月14日駐日ザンビア共和国 ムティティ全権特命大使、キモノプロジェクト大使館チームの手嶋様、三林様、同席のもとザンビア共和国大使館で打ち合わせと方向性決裁を頂き製作がスタートしました。複数の桶絞り、帽子絞り、杢目絞り、平主縫いの締め、金彩・カチン描き（アフリカンフィッシュイーグル他）、ローケツ（右袖 ビクトリアの滝・国章デザインモチーフ）など絞りをメインに複数の染め技法を駆使し2018年11月中旬に完成しました。2018年12月のザンビア共和国 ルング大統領ご来日の際に拝謁する機会を得『このKIMONOはザンビアのカラーが非常によく表現されている、とても美しい…ありがとう』のお言葉を賜りました」

● KIMONO の全体は国旗の色彩をベースに染め上げたが、赤・黒・オレンジ・緑にはそれぞれに意味がある。

赤：Blood の独立闘争で流した血の色 黒：People ザンビア人 オレンジ：Minerals コッパーベルトの銅鉱山
緑：Vegetation 農業や森林植生 金：のアフリカンフィッシュイーグル（サンショクウミワシ）＝ Freedom は自由と困難に打ち勝つ能力

● 左袖には、蝶にも見えカブのようなカタチに見えるザンビアの国を絞り、そこに銀色の文字で

独立記念日の 1964 年 10 月 24 日【24.OCT】【MCMLXIV：1964 のローマ数字表記】。

ザンビアの標語【ONE ZAMBIA ONE NATION】を金彩加工し、カチン描きで縁取りしてある。

● 黒のハートや星でザンビアの 73 部族を表現。73 の星やハートの柄が全体にちりばめてある。

平縫いの締めや帽子絞りで黒レイヨウや主食トウモロコシの柄、チテンゲというザンビアの布地の

様々なデザインにした。全体の挿し色のコバルトブルー色はザンビアの鉱物資源であるコバルト。

エメラルドグリーン色はザンビア産エメラルド、オレンジ色はザンビア産コッパーの銅を表している。

● 右袖には国章の白黒の縞ビクトリアの滝を表現。

金彩でサンショクウミワシを描き左袖にも配置。

● 上前衿と身頃にはビクトリアの滝を杢目絞り（縫い締め）その上に暈して虹

を表現。（ビクトリアの滝はザンビア国内で雷鳴する水煙、モーシ・オワ・トゥーニヤと呼ばれている）八掛と下前衿にはザンビアを表す日本語表記の「山美亜」を落成の証に銅の色彩で筆入れた。

● 技法＝桶出し絞りを 5 回、帽子絞りや縫い締め絞りに彩色、

右袖にはろうけつを引いて染め上げ、金彩にカチン描き、

書など約 1 年の製作期間を費やした。

